

施設名 **八王子市市民活動支援センター**

視点	評価項目	6月			9月			12月			期末評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)		
		所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)					
施設の管理・運営を安定して行うことができるか	支援センター会議 1回/月	B			B			B			B				
	支援センター部門会議(啓発部、情報部、ファンド部) 1回/月、広報部は隔月開催	A	センター内の連携強化のための部長会議を開催している。部門間の連携を図るために、部長会議を行った。		A	センター内の連携強化のための部長会議を開催している。夜勤スタッフミーティングを行った。		A	センター内の連携強化のための部長会議を行った。部門間の連携を図るために部長会議を行った。		A	センター内の連携強化のための部長会議を開催している。部門間の連携を図るために、部長会議を行った。これにより、部長全員がセンター事業全体を把握し、センター運営者としての意識の強化につながった。			
	管理業務の実施に係る固有の銀行口座を開設しているか [確認資料例: 銀行口座]	B			B			B			B	センターの会計専用の銀行口座を開設し、センター経理担当者により、施設できる場所に保管・管理している。			
	団体の経営方針が明確であり、きちんとした経理がされていること [確認資料例: 独立した会計帳簿]	B			B			B			B	センター事業専用の仕訳帳、総勘定元帳等の会計帳簿を使用し、センター事業だけの決算書類を作成している。			
	コピー機等使用料や講座の受講料などの徴収は適正に行われているか [確認資料例: 独立した会計帳簿・日報・月報・使用料等収納(徴収)事務委託契約書・銀行口座]	B			B			B			B	機材使用料は、センター利用者、センター利用等を厳密に区分けし、毎日、現金管理を行っている。			
	収支計画が適正であること	B			B			B			B	事業計画書に基づき、適正に事業を実施し、事業年度終了後は、事業報告書を出している。			
	管理運営がきちんとできる職員体制や研修体制がとれていること	A	業務を実施するにあたり、適切な人員配置や育成がなされているか [確認資料例: 事業計画書(人員配置計画)・事業報告書・研修報告書・実地調査]	近隣中間支援組織との連携及びスタッフのスキルアップについて評価する。	調布市市民活動支援センターより依頼を受け、「えんがわファンド」の審査委員にスタッフ派遣・初任者研修(1泊)に参加	A	全スタッフの受講による、スタッフの意識向上とセンターの機能強化について評価する。	スタッフ研修として、スタッフ全員でパワーアップ講座に参加。センターのビジョンとミッションを再確認するためのロジックモデルを学ぶ。今後センターだけではなく、団体支援にも活かしていく。	A	スタッフの意識向上及びスキルアップについて評価する。	センター事業を進めるに当たり、ビジョン・ミッション作成のための話し合いを継続。夜勤スタッフも含め、スタッフがハラスメント講習会に参加。	A	スタッフの人材育成や意識向上によるセンターの機能強化について評価する。	よりよいセンターのあり方に向け、及び意識向上によるセンターの機能強化について評価する。	
	給与の支出が適切に行われているか [確認資料例: 給与明細・賃金台帳]	B			B			B			B	サイボウズの導入により、給与の支払いの効率が向上。	B	サイボウズの導入により、出勤管理、交通費管理、給与の支払いの効率が向上。	PC利用により現金管理を行い、年間を通じて適切に給与の支払いを行った。
	施設の管理運営を安定して行う能力を有しているか	B			B			B			B		業務の一括委託が行われていないか [確認資料例: 第三者への一部事務委託に関する承諾書・事業報告書・実地調査・会計帳簿]		
	施設の管理運営を安定して行う能力を有しているか	B			B			B			B				
施設の運営において公共性・公平性・公正性が図られている	開館日数 308日/年 通常休館日 49日/年 月曜振替休館日 8日/年										B				
	利用者が公平に施設利用ができるよう、配慮されていること	B			B			B			B	決められた日数および時間の開館を徹底し、確実に市民へのサービスが提供できるよう努めた。			
	文書の管理・保存が適切に行われているか [確認資料例: ファイル標準表(なければそれに準ずるもの)・実地調査]	B			B			B			B	年間を通して、文書の管理を厳密に行い、閉館時は鍵のかかる書庫に書類を保管している。			
	施設の公共性・公平性について継続的に改善が行われているか [確認資料例: 事業報告書・実地調査]	A	利用者の立場に立った施設の管理運営について評価する。	利用者の利便性を考え、センターのレイアウトを変更、フリースペースを窓側に移動し、明るさと広さを確保。机の設置台数を増やし、一層でも利用しやすいスペースを増やす。	B			B			B	閉館時の開錠、閉館時の施錠を適切に行っているとともに、閉館中は、事故等を防止のため、声掛け等を行っている。			
備品の管理が適切に行われているか [確認資料例: 備品台帳・実地調査]	B			B			B			B	貸出機材等については、個別記帳等を行い、利用者による紛失、持ち出し等がないよう工夫している。				
施設の運営が向上し、利用者の増加等	広報紙発行 5,000部/隔月(奇数月)	B			B			B			B	センターの本来目的である市民活動を推進するため、毎回特色のある記事を掲載し、市民の市民活動への理解と関心を持つような誌面作りを工夫している。			
	利用者満足度 90%以上/年	A			A	6月に実施した利用者満足度調査の結果は、97.5%の高評価を得た。また、結果を踏まえ、事業に反映したことについて評価する。		A	利用者の利便性を高めることを目的に、イベント、講座申込み方法に申込みフォームを導入。		A	利用者満足度調査の結果は、97.5%の高評価を得た。また、結果を踏まえ、事業に反映したことについて評価する。			
	利用者からの苦情処理の体制がとれていること	B	利用者等からの相談及び苦情に適切に対応しているか [確認資料例: 相談、苦情をまとめた整理帳簿]		B			B			B	年間を通して、会議室利用カードを通じ、利用者がセンターに対し、苦情を伝える仕組みを活用し、苦情をはじめとした様々な意見を聞く体制とした。			
	電気使用量及び水道使用量の過去3年(平成27-29年度)平均比100%以下/年										B				
事業の達成目標が明確で、具体的な事業計画に基づいて事業が行われている	アクティブ市民塾 1回/隔月	B		-6/29「ここポイントネットを使いこなすための安全対策」に定員12名のところ33名の申込みがあった。	B		アクティブ市民塾「おやつを科学する」は、5倍を超える申込みがあり、初めての人や名前を知っていたけど行ったことがなかった人などが、団体の知りあきとつながり、その後何人かは継続して参加。また開催チラシを見たミニコミ誌「シャッパ」が1面で団体を紹介したり、学校の理科部への協力要請があるなど、団体の認知度アップと活動を広げるきっかけをつくることができた。	B			B	市民の方に市民活動団体の活動を知らせていた(ための志願活動を)年間の活動を通じて、市民の関心、毎年多くの市民の参加希望があった。			
	NPOパワーアップ講座 全8回/年				B			B			B	団体活動に、反映しやすくするために、当初の計画から構成を組み直し、全9回の講座として実施した。個々の市民活動団体の運営について、組織作り、広報、資金調達等のさまざまな角度から学び、市内の団体の身近な研修講座として活用していただいた。毎年、同じ団体からメンバーを変えて参加することもあり、NPO団体のスキルアップに貢献する事例事業となった。			
	市民活動実践講座 1回/年				B		7/11 NPO法人設立の基礎、講座の申込みは50人を超えた。講座をきっかけにNPO法人の相談に繋がったケースが数件あり、講座後もサポートしている。		B			B	NPO法人設立講座では定員を上回る参加希望があり、市民のNPO化への関心と興味があることがうかがえた。その後、設立についての相談もあり、市内唯一の公的NPO相談機関としての役割を担っている。		
	市民活動支援講座 1回/年	A	当初計画になかったNPO法人向け 定款変更手続き徹底講座セミナー。定員を上回る申込みがあり2回開催。講座の実施について評価する。	-4/8 NPO法人向け 定款変更手続き徹底講座セミナー。定員を上回る申込みがあり2回開催。講座の実施について評価する。							A	平成30年度は各市民活動団体がNPO法改正に伴う対応をせねばならない年であり、これをわかりやすく解説する講座はタイムリーな企画となった。			
	八王子コミュニティ活動支援サイト「はちこねっと」の適正な管理 団体登録・承認作業等/随時	B			B			従来実施している説明会に加え、必要に応じて説明会を開催していることについて評価する。			A	従来実施している説明会に加え、必要に応じて説明会を開催していることについて評価する。			
	「ゆめおファンド」人材による団体支援(1団体以上/年)	A			A			プロボノ/ワーカー、団体説明会を行った。東京都とサービスグラント主催「プロボノ1dayチャレンジ」に協力団体として参加。			A	プロボノ/ワーカーの確保に必要となる活動に関するアンケート調査実施。CANPAN利用説明会を開催。	年間を通して、はちこねっとの普及に努め、操作が困難なと感じる団体の担当者に対しては、随時遠くまで出張で伝え、団体の情報セキュリティとして活用していただくことに尽力した。		
	資源の有効活用など環境に配慮した管理運営がされていること	B			B						B		環境マネジメントシステムを基本とした管理を徹底し、使わない部屋の節電や空調の適切な温度管理を行った。内部回収文書には裏紙を積極的に利用。		
	防災訓練 1回/年	A			A			利用者を含めた訓練の実施について、評価する。			A	利用者を含めた訓練の実施について、評価する。	防火防災責任者のもと、防災意識を全スタッフに周知し、訓練等を行った。当日の利用団体(エンゼル)にもゲスト参加し、中学生は職場体験として参加。		
	個人情報の取り扱いが適切であること	A	個人情報の適切な管理のため必要な措置がとられているか [確認資料例: マニュアル・事業計画書(事業計画)・事業報告書]	支援センター独自の市のガイドラインを遵守したうえで、センター独自の情報セキュリティマニュアルにそって、データの保全等情報セキュリティを強化。	A	支援センター独自の市のガイドラインを遵守したうえで、センター独自の情報セキュリティマニュアルにそって、データの保全等情報セキュリティを強化。		A	支援センター独自の市のガイドラインを遵守したうえで、センター独自の情報セキュリティマニュアルにそって、データの保全等情報セキュリティを強化。		A	支援センター独自の市のガイドラインを遵守したうえで、センター独自の情報セキュリティマニュアルにそって、データの保全等情報セキュリティを強化。	個人情報管理について厳格な管理を徹底し、個人情報の情報セキュリティについてはルールを決めて取り組んだ。		
	指定管理者が加入しなければならない保険に加入しているか [確認資料例: 保険証券]	B			B						B				
緊急(防火・防犯等)対応等危機管理体制がとられていること	B			B						B		職員に防災意識を持ち続けることの重要性を徹底し、震度2程度での地震が発生した場合でも、館内利用者に注意喚起することも非難を覚悟等を行っている。分担を決めて速やかに避難誘導ができるよう確認した。			

期末総合評価 B

特定非営利活動法人八王子市民活動協議会は、市民活動支援センターの指定管理者として、市民活動団体の視点でその特性を発揮しながら、設置目的に沿った施設の管理運営を行っている。利用者への満足度調査において、平成30年度も各項目で高い満足度を維持し、特に施設全般の満足度においては、「満足」「やや満足」が98.5%を占めるなど、多くの市民に満足度の高いサービスを提供している。市民活動団体の団体運営基盤強化のための「NPOパワーアップ講座」において、内容の見直しを行い効果的なプログラムを実施し、ゆめおファンド事業においては、物の支援及び人の支援について、企業や個人に積極的に働きかけ、様々な形で市民活動団体への支援に繋がる事業を行ったことは、大いに評価できる。今後も、様々な広報媒体を活用し、市民活動支援センターの周知を積極的に行うとともに、これまでに築いた各団体等との連携体制を発展させ、市民活動団体の更なる基盤強化及び活動の活性化につながる取組みに期待したい。